

# 質 問 書

2024 年 6 月 3 日

「セネガル国測地網近代化のための能力強化プロジェクト」

(公示日:2024 年 5 月 22 日/調達管理番号:24a00234)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	11 ページ 第2章【2】第3条2. (1)既存事業との連携(他ドナー、民間等)	「ドイツ国際協力公社(GIZ)や世界銀行(WB)により設置された電子基準点と本事業により設置される電子基準点を統合し」とありますが、先行 2 プロジェクトで設置された(される)電子基準点の位置情報は提供いただけるでしょうか?また、先行 2 プロジェクトで整備された(される)データセンターの場所、仕様、配信データなどの情報は提供いただけるでしょうか?	プロジェクト開始後、GIZ および WB により設置された電子基準点を所有する ANAT から、関連情報(所有する電子基準点の位置情報、データセンター所在位置、仕様、配信データ等)が提供されます。
2	12 ページ 第2章【2】第 3 条2. (2)電子基準点運用・利活用促進のための持続可能な体制構築・能力強化	本事業の実施にあたり、カウンターパートは新規ユニットを立ち上げることになっており、2023 年 9 月署名の M/M の中で具体的な人数も示されており、先方の意欲を感じます。現時点では技術協力が始まっていないことから当該組織は存在せず、技術協力の開始直後に組織ができるかと理解してよろしいでしょうか?	ご理解のとおりです。 ANATはプロジェクト開始時までにユニットのメンバーを指名し、プロジェクトを通じた技術移転の対象とすることとしています。
3	13 ページ 第2章【2】第3条2. (4) 電子基準点及びデータセンターの設置	調達は 2025 年 7 月までに完了することとなっておりますが、電子基準点の正確な座標計算(ITRF2020 を用いる場合)には観測データの 1 か月程度の集積が必要となるため、高精度測位サービスの開始はそれよりも2カ月程度遅れ同年9月以降に開始されることとなります。JICA の協力開始が、R/D で想定されているものよりも若干遅れていることについて、現時点	セネガル政府に対し、JICA プロジェクトの事業スケジュール(案)を R/D で確認していますが、変更が生じることについても同意を得ています。 JICA プロジェクト開始時に、RD で想定された開始時期からの遅れを踏まえて、電子基準点の調達・整備完了やサービス開始時期につい

		で PROCASEF などの地籍ユーザーから特段の問い合わせはありますでしょうか？サービス開始時期についてセネガル側とはどのような合意がなされているでしょうか。	て、見直しを行います。 現時点で地籍ユーザーからの問い合わせはありません。
4	14 ページ 第2章【2】第3条2. (6)利活用促進のための広報	「現地セミナー及びワークショップ(利活用促進のためのイベントは計 3 回を想定)を行う。」とある一方、P16 の表には、「セミナー:配信サービスのユーザー拡大及び ANAT の電子基準点利活用促進」を「セミナー(2回)」開催するとの記載があります。セミナー実施回数は何回を想定されているでしょうか？	現地セミナー:1 回 ワークショップ: 2 回 の想定とします。
5	14 ページ 第2章【2】第 4 条2(1)プロジェクトの活動に関する業務	活動 1 では、R/D の ”Development of CORS network”に対して、“電子基準点の整備とネットワーク化”となっていますが、「 <u>ネットワーク化</u> 」に特別な意味があるのか、お伺いします。例えば、WB や GIZ の CORS データをリアルタイムで取り込み、利用者への測位サービスを行うことも JICA として期待されているのでしょうか？WB や GIZ とのデマケ明確化は極めて重要な課題ですので、現段階でのお考えがあればご教示ください。	複数のドナー、事業者により整備された電子基準点が、統合的にANATにより運営・維持管理されることがプロジェクトとして目指す方向性です。この方向性に鑑み、WBやGIZに整備された CORS から得られるデータとJICAが整備する CORS から得られるデータを統合的に運用できるようにすることを本プロジェクトの活動として位置づけています。
6	17～18 ページ 第2章【2】第4条2. (3)その他	「②ベースライン調査」は「④C/P のキャパシティアセスメント」にて設定する指標や達成レベルを決めるためのベースライン値の調査と考えて良いでしょうか？また「⑤エンドライン調査」も「④C/P のキャパシティアセスメント」にて設定した指標や達成レベルに対する達成状況の評価と考えて良いでしょうか？②、④、⑤の関係について明確にさせていただけるでしょうか。	②は、「④C/P のキャパシティアセスメント」にて設定する指標や達成レベル」の調査に加えて、上位目標、プロジェクト目標、各活動の成果を図るために必要なプロジェクト開始時点での指標や指標達成に向けた課題・リスクを確認するものです。 ⑤は上記②の結果と課題・教訓を確認するものとなります。

7	20 ページ 第2章【2】第5条1. (5)事業完了報告書	「発注者指定の様式に基づき作成する。」とありますが、貴機構 HP 内の業務実施契約の様式に「事業完了報告書」が見当たりません。様式が公開されている URL を教えていただけませんか。	こちらの業務完了報告書をご利用ください。 <a href="#">業務ガイドライン 及び 月報・業務報告書等様式等</a>   <a href="#">JICA について - JICA</a>
8	21 ページ 第2章【2】第 5 条2. 技術協力作成資料	技術協力作成資料として、「(7)座標変換パラメータマニュアル」が指定されていますが、これは、活動 4-2 のマニュアルと、活動 4-3 のマニュアルを一体のものとして最終化するというのでしょうか。前者は、ANAT 担当者向けの座標変換パラメータの作り方を示したマニュアル、後者は一般利用者向けの座標変換パラメータの使い方になると考えております。	ご認識の通りです。
9	38 ページ 第3章4. (4)定額計上について	セネガル政府は、最新の国際地球基準座標系 (ITRF) に準拠した新しい測地系を構築する意向を示している (p.11) ことから、その意向に応える技術移転には、メーカー製のソフトウェア以外に、グローバルな基線解析が可能な学術用ソフトウェア (Bernese ver.5.4 など) を導入することが有効と考えられます。円安のため円建てではかなり高額となっております (約 400 万円) ですが、「2. インフラ環境整備に係る経費」の定額計上金額「7000 万円」には上記ソフトウェアの費用は含まれているのでしょうか。	定額計上に含まれていると理解ください。定額計上で調達するソフトウェアの具体的内容については、契約交渉時に協議・確認するとともに、プロジェクト開始後に必要に応じて変更・追加等を確認します。尚、企画競争説明書に記載ありますが、定額計上指示された業務につき、定額を超える別提案をする場合は別見積りとしてください。その場合、定額の金額のまま計上して契約をするか、プロポーザルで提案のあった業務の内容と方法に照らして過不足を協議し、受注者からの見積りによる積算をするかを契約交渉において決定させていただきます。
10	38~39 ページ 第3章4. (4)定額計上について	定額計上の表中「4. 本邦研修にかかる費用」に「受入期間の業務人月 (研修・セミナー計画、4号を想定) 報酬 0.75 人月の報酬 (2,178,000 円)」とありま	ご認識の通りです。

		<p>す。また、経理処理ガイドラインの P.28 には、「(本邦研修の)契約は当初契約締結時に企画競争説明書記載の定額にて締結し、その後研修の詳細が決定した段階で、打合簿を取り交わし内容・金額を確定します。」とあります。本邦研修では、「研修・セミナー計画」以外の業務従事者が参加し研修員に対して必要な説明や協議を実施することを想定していますが、このような変更の可否は詳細が決定した時点の打合簿で決定する、という認識でよろしいでしょうか。</p>	
11	39 ページ 第3章4. (9)その他留意事項	<p>「安全対策上の必要性から、認められるクラスの「普通運賃」を上限として見積ってください」とありますが、普通運賃で航空券を購入する必要があるような、現地の治安情勢についての留意点があれば確認させていただきます。そのうえで、「普通運賃」でなく、「正規割引料金」での見積計上は可能でしょうか？また、正規割引運賃で見積計上した場合、安全対策を怠っているという判断がなされる可能性はありますか？</p>	<p>治安情勢についての留意点は特にございません。 「正規割引料金」での見積もりで問題ありません。安全対策を怠っていることにはなりません。</p>

以上